

(別添3)

**【天理市】**  
校務DX計画

**1. 本市での取り組みについて**

現在、保護者に対するお便り・配付物等については、クラウドサービスを利用した通知を一定数行っている。今後も各家庭の事情を考慮した上で、有用な活用方法について検討を進めていく。

**2. 本市における課題について**

保護者から学校への提出物については、クラウドサービスの利用が進んでいない現状がある。提出物の作成方法の簡略化、システム化等、保護者と学校双方にとって負担となる部分が軽減されていけば、利用の拡大につながると考えられる。

**3. 今後の取り組みについて**

クラウドサービスによる情報のやり取りの利点として、「児童生徒を介さず保護者と学校が直接情報を伝達可能」であることが挙げられる。今後活用を進めることで、情報伝達のミス防止の効果が高まり、また、システム化ができれば、資料作成の負担軽減による業務の効率化、ペーパーレス化が可能となる。

こうしたクラウドサービスと合わせて、現在導入されている校務支援システムの活用を行うことで、学校現場の校務DX化を進めていきたいと考えている。